

江戸優り

佐原の大祭

国指定重要無形民俗文化財

ユネスコ無形文化遺産

夏祭り

令和7年7月

11日 金

12日 土

のの字廻し

13日 日

香取の神に守られて
忠敬翁が敷いた道を行く
佐原雛子を奏でる
豪華絢爛な山車10台



12日(土)

山車整列

山車の曲曳きの
のの字廻し

◆期間中、利根川河川敷特設大駐車場から祭り会場まで「シャトル舟」運航・「シャトルバス」を運行(有料)◆

香取市観光と祭り写真コンクール作品募集

- ◆部 門 2部門制 ◆祭りの部(夏祭り及び秋祭り期間中の作品)
- ◆観光の部(通年の作品)
- ◆締 切 10/31(金)必着
- ◆応募方法 (一社)水郷佐原観光協会HP(<http://www.suigo-sawara.ne.jp>)からデータ応募サイト「トップページ」より「新規利用登録」を行い作品応募専用ページで必要事項を入力。
- ◆問い合わせ 香取市佐原イ74-31 (一社)水郷佐原観光協会 TEL:0478-52-6675

佐原の大祭実行委員会・佐原山車行事伝承保存会

お問合せ

- 香取市商工観光課……………☎0478(50)1212
- (一社)水郷佐原観光協会……………☎0478(52)6675
- 佐原商工会議所……………☎0478(54)2244

★お祭り本部

11日(金)~13日(日)

TEL.0478-50-2111

NPOまちおこし
佐原の大祭振興協会

佐原の大祭実行委員会



佐原の大祭開催予定 ●令和7年秋祭り/10月10日(金)・11日(土)・12日(日) ●令和8年夏祭り/7月10日(金)・11日(土)・12日(日)

夏祭り見どころ情報



今年の夏祭りの山車運行は、**3日間『乱曳き』**となり、各町で定めたコースを「佐原囃子」の調べに乗せて山車が曳き廻されます。乱曳きの途中で祝儀を受けると、お礼として家の前で山車を止め軽快な手踊りが披露されますが、この手踊りは江戸時代の手古舞の流れをくむものと言われています。

また、山車が「おまつり広場」前を通過する際にも広場前にて手踊りが披露されます。

夜になると提灯やぼんぼりを飾り立て、お祭りはより一層の盛り上がりを見せます。

12日(土)の夕刻には、山車10台が寺宿通りに整列します。各町自慢の山車が一堂に会して行われる曲曳き「のの字廻し」は、見どころの一つです。

最終日には、『お神輿の神幸』が行われます。

11 金 日

山車の運行は終日『乱曳き』となります。各町の山車は、自町内を中心に日本三大囃子「佐原囃子」の音色に乗せ、時に優雅に、時に軽快に曳き廻されます。

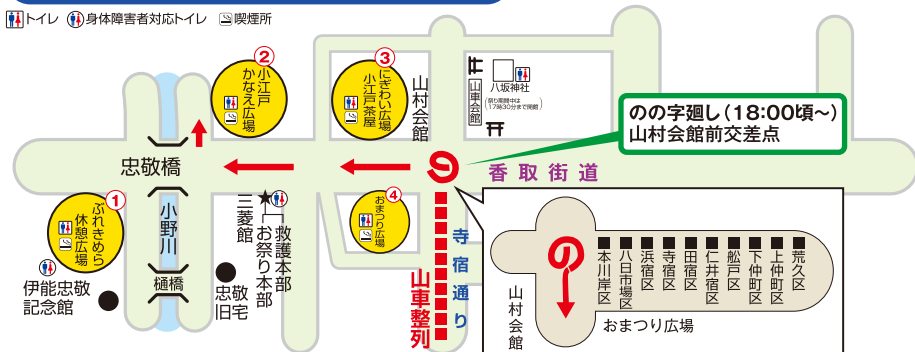
10:00～ 山車乱曳き(山車9台)
随 時 各町若連による手踊り※おまつり広場前、随所
随 時 のの字廻し(任意)※山村会館前交差点、忠敬橋ほか

12日(土)

日中の山車の運行は『乱曳き』となります。夕方16:30までにすべての山車が寺宿通りに整列し、18:00頃から山村会館前交差点を会場に、山車年番の本川岸区より順次「のの字廻し」が披露されます。

10:00～	山車乱曳き(山車10台)
16:30頃	山車整列完了(10台)※寺宿通り
17:30	提灯一斉灯入れ
17:50～	通し砂切※各山車前
18:00頃～	のの字廻し(10台)※山村会館前交差点
随 時	各町若連による手踊り※おまつり広場前、随所
随 時	のの字廻し(任意) ※山村会館前交差点ほか

のの字廻し・山車整列位置



13日

山車の運行は終日『乱曳き』となります。また、「お神輿の神幸」が荒久区によって行われます。12:00頃、八坂神社を出発したお神輿は町中を練り歩き、18:00頃八坂神社に戻ります。

10:00～ 山車乱曳き(山車10台)
11:00～ お神輿の神幸(境内三遍回り)※八坂神社境内
12:00～ お神輿の神幸(御浜降り)※八坂神社～市内
随 時 各町若連による手踊り※おまつり広場前、随所
随 時 のの字廻し(任意)※山村会館前交差点ほか



※山車の状況により、時間などが変更になる場合があります。

12日(土) 勇壮な
のの字廻し

18:00頃から山村会館前交差点で
実施されます。

「の字廻し」とは、重さ3~4トン、高さ7メートルにも及ぶ山車を向って左前の車輪を軸として、筆で「の」の字を書くように数回転させるもので迫力満点です。山車上部の大人形があたかも能を舞う如く、ゆっくり回転させることが上手とされています。



祭り用語一口メモ

曳き廻し(ひきまわし)

山車が運行することによって「曳き廻し(ひきまわし)」といいます。梃子(てこ)と呼ばれる重さ20kg程ある太くて長い丸太を使い、ブレーキと梃をとり、この梃子で山車を操ります。狭くて曲がりくねった佐原の道を緩急自在に動かせるようになるには熟練を要し、俗に「てこ取り0年」とも言われています。

山車乱曳き (だしらんびき)

山車が各町ごとに思い思いのコースを曳き廻すことを「乱曳き」と言います。

通し砂切 (とおしさんぎり)

「砂切」(さんぎり)とは、朝山車が出発する時と、夜山車が到着した時のみに演奏される儀式的な曲です。山車が整列した時に、一台目の山車から順番に「砂切」が演奏される事を「通し砂切」と言います。演奏する囃子連によって違いがあるので、聴き比べてみてください。

佐原の大祭

市街地マップ

『シャトル舟』

9:30~20:00

※12:00~13:00運休

片道券 大人/800円 小学生/400円

※天候により運航見合わせ、中止となる場合があります。

『シャトルバス』

9:30~21:00

片道券 大人/300円 小学生/200円

往復券 大人/500円 小学生/300円

利根川河川敷臨時駐車場からお祭り区域まで運航(行)されます。



① ぶれきめら休憩広場

【場所:忠敬橋付近駐車場】 **ゴミ箱有**

10:00~22:00 **町並み観光トイレ有** **喫煙所有**

キッチンカー等で飲食の販売を行います。
休憩場所としてもご利用ください。

③ にぎわい広場小江戸茶屋

【場所:下仲町パーキング】 **ゴミ箱有**

10:00~22:00 **トイレ有** **喫煙所有**

友好都市との交流広場。各地のご当地グルメの実演販売
や冷たい飲み物を御用意しています。

② 小江戸かなえ広場

【場所:小野川沿い本宿側駐車場】 **ゴミ箱有**

10:00~22:00 **トイレ有** **喫煙所有**

水郷佐原観光協会会員による飲食物の販売を行います。
休憩の場所としてもご利用ください。

④ おまつり広場

【場所:山村会館前交差点横】 **ゴミ箱有**

10:00~22:00 **トイレ有** **喫煙所有**

広場前では、各町のご協力による佐原囃子と手踊りが披露
されます。またLED大型ビジョンでお祭りの様子を放映します。
休憩の場所としてもご利用ください。

⑤ コンパスミニ広場

【場所:みんなの賑わい交流拠点コンパス前】

10:00~21:45 **トイレ有**

キッチンカー等で飲食の販売を行います。
館内含め敷地内は禁煙です。

熱中症対策を!!

各広場のテントや無料休憩所(佐原町並み
交流館・佐原商工会議所等)をご利用いた
だき、こまめな水分補給と休憩をお取りく
ださい。

※仮設トイレはすべて洋式で設置しています。

佐原の大祭をもっと楽しく!

各町自慢の山車ごとの異なる違いに注目しながら歩いてみると、佐原の大祭をもっと楽しめます。
大人形や彫刻の精密さをぜひ間近でご覧ください。佐原囃子の聴き比べも面白いですよ。

佐原囃子

山車の運行に合わせ、時に華やかに、時には優雅に演奏される佐原囃子は、情緒的なメロディーが特徴で、楽曲のレパートリーも豊富。使用される楽器は、篠笛・大鼓(お太鼓)・小鼓(鼓)・附締太鼓(ツケ)・大太鼓・鉦の6種類と数多く、和楽器のオーケストラとも呼ばれています。

大人形

江戸時代後期から昭和初期にかけて江戸、東京で活躍した名工、鼠屋福田万吉、安本亀八、大柴豊彦などの人形師たちによって制作された身の丈5メートルにも及ぶ大人形が山車の最上部に飾り付けられています。現在ではこのような大人形をつくれる職人はいないと言われ貴重な文化遺産となっています。

彫刻

山車の周囲には樺材で制作された関東彫りの重厚で豪華な彫刻が飾り付けられています。制作は、後藤、石川、立川などの江戸の名工いわれた彫刻師により手掛けられ、構図は一般的な龍や花鳥、獅子だけでなく、日本神話や軍記物、中国の故事など様々なものがあり、登場する人物は表情豊かで躍動的に彫られています。



佐原の大祭

夏祭り「伝統の山車10台紹介」

三百年伝統の山車祭り

佐原の山車の大人形は江戸後期～昭和初期に、江戸・東京で活躍した人形師達によって制作され、現在ではこのような大木偶人形を作れる職人はいないといわれ、貴重な文化遺産となっています。

写真説明 ①山車の制作年代 ②飾り物制作年代／制作者 ③額の文字 ④一口メモ ⑤担当の下座連

山車がどこにいいのか知りたい！

山車の現在地や広場・休憩所などの確認はデジタルMAPが便利です



ほんがし
本川岸 ■ 天鈿女命



- ① 明治16年(1883年)
- ② 文化元年(1804年)／鼠屋五兵衛(戦後大修復)
- ③ 咲楽(しょうらく)
- ④ 江戸の人形師鼠屋の銘が御頭内部に確認された。通称おかめさんは現存使用最古の飾り物と判明。
- ⑤ 新和下座連

ようかい
八日市場 ■ 鯉



- ① 明治29年(1896年)
- ② 文政年間(1818～1830年)※古文書の記述より
- ③ 龍の彫刻
- ④ 飾り物の鯉は、麦わらを使い、町内全員の協力です5年ごとに制作。今の鯉は令和6年の作。
- ⑤ 内野下座連

はま
浜宿 ■ 武甕槌命



- ① 平成9年(1997年)
- ② 昭和12年(1937年)／鼠屋
- ③ 柔和(にゅうわ)
- ④ 山車彫刻は嘉永元年から四年間かけて制作されたもの。
- ⑤ 与倉芸座連

てら
寺宿 ■ 金時山姥



- ① 嘉永3年(1850年)
- ② 明治12年(1879年)／鼠屋五兵衛
- ③ 帯臺(へいたい)
- ④ 飾り物は足柄山での少年期を表し、熊にまたがり斧をかざし、力強さを表している。
- ⑤ 佐原囃子連中

た
田宿 ■ 伊弉那岐尊



- ① 嘉永4年(1851年)
- ② 明治43年(1910年)／面六
- ③ 雅泰(ようたい)
- ④ 山車は漆塗り、格天井には漆時絵を施してある。
- ⑤ 清水芸座連

に
仁井宿 ■ 鷹



- ① 平成11年(1999年)
- ② 宝暦年間(1751～1764年)
- ③ 仁愛(じんあい)
- ④ 飾り物の鷹は、稲わらを使い、町内全員の協力です4年ごとに制作。今の鷹は令和5年の作。
- ⑤ 潮来芸座連

ふな
船戸 ■ 神武



- ① 平成9年(1997年)
- ② 明治20年(1887年)／三代目 原舟月
- ③ 燕衍(しょうかん)
- ④ 彫り物に良いものが多いが、中でも鯉の彫り物が優れているという。
- ⑤ 源囃子連中

しも
下仲町 ■ 菅原道真



- ① 文政5年(1822年)
- ② 大正10年(1921年)／三代目 安本亀八
- ③ 鎮徳(しょうとく)
- ④ 玉簾、天幕は安政3年(1856年)の作。平成24年、古文書の発見により、現存する佐原最古の山車と判明。
- ⑤ 如月会囃子連

か
上仲町 ■ 太田道灌



- ① 明治34年(1901年)
- ② 大正10年(1921年)／大柴徳次郎
- ③ 徳威(とくゐ)
- ④ 山車は社寺建築の「本枘組造り」の様式が取り入れられた厚重なもの。令和4年、人形衣装を新調。
- ⑤ 東関戸連中

あら
荒久 ■ 経津主命



- ① 平成30年(2018年5月、山車新造)
- ② 大正9年(1920年)／三代目 安本亀八
- ③ 威徳(いとく) 令和4年5月新調
- ④ 飾り物は香取神宮の祭神。彫り物も立派で、特に方立(柱隠し)は優れている。
- ⑤ 野田芸座連

佐原の大祭は、夏祭り(7月)と秋祭り(10月)の年2回行われます。夏は小野川を挟んで東側の本宿・八坂神社、秋は西側の新宿・諏訪神社の祭礼として行われます。江戸時代、すでに「見物の群衆、人の山をなし」(赤松宗旦)と言われるほどの賑わいを見せた佐原の大祭は、なんといっても華麗な山車、哀愁を帯びた佐原囃子が特徴です。

平成16年、「佐原の大祭」が「佐原囃子」とともに、『国の重要無形民俗文化財』に指定され、また、平成28年には、『ユネスコ無形文化遺産』として「佐原の大祭」が千葉県では唯一登録となりました。

歴史的町並みが残る小野川沿いを行き交う山車の姿は、佐原の特色を生かした見どころの一つ。佐原のまちに“小江戸の賑わい”が甦る3日間です。